Try & Challenge トライ＆チャレンジ ～夢をかなえるために～ 「実践」《自由な発想と大胆な行動》

2007.6
No.230

Handsome ハンサム

発行人：鳥取県西部中小企業青年中央会　会長　福田一哉　　編集責任者：植田寿雄　　制作・編集：メディアコミュニケーション委員会　　印刷所：東京印刷㈱

33期新役員決定

理　事

山本　徹
昭和39年7月6日生まれ
平成15年11月入会

松原　毅
昭和40年11月10日生まれ
平成13年9月入会

加藤　典史
昭和42年2月7日生まれ
平成8年10月入会

石川　達也
昭和42年1月13日生まれ
平成16年7月入会

小椋　崇永
昭和46年9月10日生まれ
平成13年10月入会

佐々木雅彦
昭和42年2月3日生まれ
平成16年10月入会

松江　智雄
昭和40年10月8日生まれ
平成13年4月入会

手島　武司
昭和41年4月17日生まれ
平成13年3月入会

次年度副会長決定

次年度副会長（事務局長）
後藤　公平
昭和44年6月27日生まれ
平成11年4月入会

　大阪から嫁はんもらって丸10年。長女誕生は副委員長を任された年度。次女は自身が委員長を務めた年度。三女は県出向理事の職に就いた年度。中央会人事ある年に家族増…。じゃあ、次年度は？（想像したくありません。）

　趣味は太ることと痩せること。読書も大好きで、"狭く、深く"がモットー。渡部昇一氏に傾倒中。好きな言葉は「千里始足下、高山起微塵、吾道亦如比、行之貴日新」（白居易）。

　尊敬する人は吉田松陰と西郷隆盛。

監　事

多賀　彰穂
昭和37年12月12日生まれ
平成4年1月入会

植田　寿雄
昭和38年3月31日生まれ
平成12年1月入会

田中　康裕
昭和38年8月8日生まれ
平成4年7月入会

会計理事

中村　臣成
昭和47年12月25日生まれ
平成15年7月入会

33期県出向役員候補

県出向理事

河津　慎二
昭和45年4月3日生まれ
平成15年9月入会

川村　健
昭和51年12月7日生まれ
平成16年9月入会

土岐　哲己
昭和42年4月27日生まれ
平成16年9月入会

県出向監事

堀江　則夫
昭和39年10月30日生まれ
平成13年1月入会

5月例会開催　畳の上で「子曰く…」

平成19年５月15日（火）ホテルサンルート米子にて第32期５月例会が開催された。今月の例会担当は夢委員会。「サムライ」をテーマに活動している委員会だからなのか、ホテルの会場には畳が84枚敷きつめられ、会員はその上に着座、いつもと違う純和風の例会が始まった。

例会のタイトルは「論語に学ぶこころ　来れ大人の寺子屋」である。冒頭、福田会長は「本日は、2500年前中国に生まれた孔子の論語を改めて学ぶ。昔からその考えは日本にも伝わり、徳、仁、義、礼など人としてとても大切なことが記されている。信じられる人になることは企業にとっても重要な要素であり、論語からさまざまなことを学んでもらいたい。」と挨拶された。

続いて新入会員の山口啓一郎会員に福田会長よりバッジ･会員手帳の授与が行われ、堂々とした長い入会の挨拶が行われた。

その後、臨時総会が開催され、水副会長の議事進行により次年度副会長に後藤公平会員、さらに新理事８名、会計担当理事１名、監事３名、県出向理事３名、県出向監事１名が推薦され承認された。

続いて委員長タイムでは政治行政委員会の牧田委員長が土地家屋調査士らしく、初めて日本地図を作成した伊能忠敬の紹介を皮切りに、土地に関する豆知識を披露された。中でも調査士の「士」は武士の士であり、税理士、弁護士とならんで「サムライ業」とよばれている。調査士は国民の利益を第一として仕事をすることが大切であると語られた。

そしていよいよ本編の「大人の寺子屋」の開会である。夢委員会の後藤太良委員長は「論語というものを使い、自らの心に問いかけてもらうきっかけ作りになればよいと思います。」と挨拶された。進行方法は会員が５名壇上に上がり、それぞれが感銘を受けた文を「素読」し、参考文献による説明、さらに自分の立場、企業に置きかえてその文の何に感銘したのか、影響を受けたのかを語るという形式で行われた。一般会員も声に出し論語を素読することにより、より深く論語を理解できたのではなかろうかと思われた。後藤委員長は中で「責任ある立場になったときこそ、自らを振りかえるためにも論語を読み返す時ではないだろうか」と語られ、会は粛々と進行していった。その中の何篇かを紹介する。

「子曰く、故（ふる）きを温（たず）ねて新しきを知れば、以て師と為るべし。」「子曰く、朝に道を聞かば夕に死すとも可なり。」「子曰く、位なきことを患えず、立つ所以を患う。己を知るものなきを患えず、知らるべきを為すを求む。」興味を持った方は夢委員会会員まで問合わせ願いたい。

責任ある立場になったとき、大きな壁にあたり乗りこえられそうにないとき、何かに悩み苦しんでいるとき、論語をひも解いてみればそこに答えがあるかもしれない。そんなことを感じた５月例会であった。

（記事：岩田）

委員会BunBun訪問

～ 委員会は会議室だけでやっているのではない…　現場でもやっているのだ!! ～

● エコチャレンジ委員会 ●

平成19年5月8日（火）にウェルネス･インほうき路において、エコチャレンジ委員会5月委員会が行われました。㈶鳥取県産業振興機構 新事業創出部 循環環境産業クラスターコーディネーター 岩山悟氏、㈱田中農場 代表取締役 田中豊氏をお招きして、岩山氏には鳥取県産業振興機構の支援業務ならびに助成金等の説明、また田中氏にはリサイクル業･環境事業を経験され、自ら起業されたお話を中心にご講演していただきました。岩山氏の説明では、クラスターとはブドウの房を意味していて、産業クラスターとは、取引･技術･情報･資金･人材･の要素がブドウの房のように繋がって産業が集積している状態のことを言うそうです。簡単に説明すると、一社では出来ないことを数社でやり、その数社の互いへの紹介や支援を通して産業を繋げて発展を図るという方法で、製品開発から販路開拓まで一貫して支援して頂けるとのことでした。企業が発展するツールを数多く機構に持っておられるので、何かあれば相談してみるのも手かと思います。

続いて田中氏より、田中農場の起業に至るまでの経緯を簡単にご説明いただいた。田中農場はバラのエッセンシャルオイル製造を手がけようとはじめた会社です。「バラのエッセンシャルオイルの主な生産地はブルガリアなのだけれども、それを日本でも出来るのではないか？」と、田中農場ブランドとして世に出す事を決めたそうです。バラ一輪から抽出できるオイルはごく僅かですが、同時にローズウォーターが大量に獲れる。エッセンシャルオイルもローズウォーターも商品価値があるものなので、これからいろいろと試していこうという事でした。その後、質疑応答が行われ、様々な意見が飛び交いました。

普段交流のない方のご講演を聞かせていただいて、大変勉強になりました。

（記事：安岡）

PLAYBACK 中央会 -あの頃僕は若かった！-

第13期卒会　森田　稜ＯＢ

今回は寿通信工業㈲の森田社長を訪問しました。森田社長は30代前半で独立開業され､今年で33期目を迎えていらっしゃいます。業務内容は電話設置工事等を行っておられます。

Q．入会の動機についてお伺いします。
Ａ．独立して間もなく、第7期卒会の長谷川博之氏や第11期卒会の生田宥氏などからお誘いを受け入会しました。とにかく入会したからには友達を多く作りたいと思いました。

Q．中央会での活動で特に印象に残っていることはありますか。
Ａ．40代前半の頃に北海道の池田町で行われた町おこしの「ワイン祭り」に参加したことが一番の思い出です。これは当時国会議員の丸谷先生（故人）をオープン例会で講師としてお招きしたことがご縁となったものです。（例会では当地の市町村長様にご出席いただき町おこしの講演を開催。丸谷先生は国会議員になられる前は池田町町長を務められ、ワインで町おこしに成功された。）
例会後の懇親会では丸谷先生持参の十勝ワインで大いに盛り上がりました。その後、丸谷先生から池田町ワイン祭りの招待券が20枚送られてきたので、「これは行かないわけにはいかない」との熱い思いで交通費は自腹で北海道まで行ったのですが、非常に町おこしの勉強になりました。

Q．現役会員に一言お願いします。
Ａ．今現在思うことはもっと多くの行事に出席すれば良かった、ということです。卒会してからその事に気付いたので、現役会員には一生懸命出席して勉強して欲しい。中央会は異業種の友達づくりや自分を磨く場所として最高です。皆さん頑張って下さい。

森田OBには多忙な中、取材させていただきありがとうございました。森田OBがおっしゃられた言葉をよく肝に銘じて、とにかく自分で時間をつくって、例会に委員会に各種行事に一生懸命出席したいと思います。　（記事：村上）

Try & Challenge ～夢をかなえるために～

エコチャレンジ委員会
村岡　誠一 会員

みなさん、コンチクワ！２ヶ月前に開業させていただいた「キャベツ畑」の生い立ちをご紹介します。
昨年秋、金融機関のＩ会員が「駅前に面白い物件があるよ」と紹介してくれたのですが、エラー＆チャレンジで、多忙のつもりの私は見向きもしませんでした。ところがある日、駅前を徘徊していたところ「売り･貸し物件」の看板が目にとまり､これだと感じたのです。早速、Ｉ会員に尋ねると､やはり該当物件だったのです。Ｔ会員に賃借斡旋をしていただいたまでは早かったのですが、何の事業をするのか決めていませんでした。
いつも当ホテルに、たむろしているＹ会員がお好み焼きを食べたいと言うので、飲食店に決定です。その後、何のノウハウも無い私は、食いしん坊のＹ会員、Ｕ会員と広島のお好み焼き研修に行き、その日のうちに、3軒お好み焼きのはしごです。改装は、Ｋ会員とＭ OB会員にまる投げ状態、建築協力会社には、Ｋ会員、Ｈ会員、Ｉ会員等々です。金融借り入れは、Ａ会員のさじ加減で事なき完了。そうそう、厨房図面はＩ元会員、デザイン一式はＫ会員にも多大なお世話になりました。食材のメイン納入は、Ａ OB会員とＨ会員の会社です。レジスター･小物はＫ会員と挙げればきりがありません。
思いつきから４ヶ月後には、新たな、Ｂ級グルメ店が完成しました。このスピード感に改めて中央会会員はすごいなと実感したお話でした。

オープン委員会開催　～ビジネス交流委員会～

平成19年5月10日（木）米子コンベンションセンターにおいて、ビジネス交流委員会のオープンセミナーが開催された。
当日は㈱リクルート ＨＣソリューショングループ 兼総合企画部の井上功氏を講師に招き、「営業力･現場力ＵＰセミナー～ヒト･組織が活性化する企業とは～」という演題で講演が行われた。
畠山委員長の挨拶に続き講演が開始されたのだが、始まってすぐの所で「何かコロンボみたいだな」と思ってしまった。なぜなら、最初に先生が「ヒト･組織が活性化する企業とは･目指す姿が存在し、経営戦略が明確で、人事戦略が機能している企業。これが今日の結論です。」とイキナリ言ってしまったからである。
まず、目的追求によって自然と目標が達成される姿が理想であり、ノルマの話ばかりでなく、社員が楽しく仕事をできるようにする為、経営者が自社の目指す姿を短い簡潔な言葉で言い続けることの大切さを語られた。
次に、「営業の仕事は売りつける事ではなく、お客の課題を見つけてそれの解決手段を自社のサービスの中から探し、もし無ければ新たに創っても良い」という事と、それを型として確立してやり切らせる事（＝執行）が経営であると話された。

さらに「社員は、仕事の意味、仕事に対する意志、仕事のやり方が腑に落ちて、それを環境が支えることが出来れば働いてくれる。その上で、経営者と社員が訊くコミュニケーションを徹底し、目指す姿と自社の経営戦略を共有することが人事戦略において重要だ」と述べられ、最後に本田宗一郎の言葉を引き合いに、「志本主義で行きましょう」と締めくくられたのであった。今回初めて井上氏の講演を聞いた筆者にも、わざわざ来ていただいた、という理由が良く分かる有益な講演でした。　（記事：竹谷）

鳥取県西部中小企業青年中央会とは？

第2回新入会員オリエンテーション開催

平成19年5月21日(月)、ウェルネス・インほうき路において、夢委員会担当の「平成18年度　第２回新入会員オリエンテーション」が行われた。中央会で唯一の新入会員の為に行われる、恒例研修会である。

開会に先立ち18時より参加会員全員で温泉に入り、「裸の座談会」開始、心と体をリフレッシュし気持ちを新たにして19時より開会した。まず福田会長の挨拶の後、武海直前会長より「中央会会員としての心得」、続いて拝藤副委員長より「中央会概要説明」、景山委員長より「中央会HPの説明」、中村委員長より「中央会事務局についての説明」がありました。その後、水副会長をコーディネーターに迎え２つのテーマについて参加会員全員によるディスカッションが行われた。

テーマ①　中央会の魅力とは？
テーマ②　トライアスロンの方向性について

それぞれのテーマについて熱く語り合われた。総評として中田次年度会長より、「自分が参加し、自分が行動し、会員それぞれが自分なりの中央会を作っていただきたい」と話され、オリエンテーションを終了した。新入会員達はそれぞれ新たな思いを胸に有意義な時間を共有した。　　　　　（記事：樋口）

５月度委員会報告

総務委員会

平成19年5月11日（金）　於：こうりん坊　出席者／14名
議題・事務局運営の考察並びに実践について
・委員会運営の為の鳥取県西部中小企業青年中央会議事法勉強会について　・7月総会について　・その他

エコチャレンジ委員会

平成19年5月8日（火）於：ウエルネス・インほうき路　出席者／11名
講演・鳥取県産業振興機構の支援業務並びに補助金等の説明
講師：㈶鳥取県産業振興機構　新事業創出部
循環環境産業クラスターコーディネーター　岩山　悟氏
・山陰クリエイト㈲にてリサイクル業、環境事業を経験され、自ら起業された㈱田中農場（薔薇園）の話が中心
講師：㈱田中農場　代表取締役　田中　豊氏

ビジネス交流委員会

平成19年5月10日（木）於：米子コンベンションセンター　出席者／６名
オープンセミナー
講演：「営業力・現場力ＵＰセミナー ~ヒト・組織が活性化する企業とは~」
講師：㈱リクルート ＨＣソリューショングループ　井上　功氏
参加者：34名

メディアコミュニケーション委員会

平成19年5月11日（金）於：レストランぶどうの木　出席者／15名
議題・ハンサムの件　6月号は今期入会者が中心となって作成
・中央会番組について　・６月担当例会について
・卒会寄稿文、委員会報告について　進捗状況確認

政治行政委員会

平成19年5月10日（木）　於：ウエルネス・インほうき路　出席者／６名
議題・６月経営研修会の内容について
・ポスター、チラシ作成、配布方法などの協議

わくわく発掘委員会

平成19年5月9日（水）　於：ウエルネス・インほうき路　出席者／ 10名
議題・わくわく発掘プチツアーｉｎ鳥取県西部（仮称）開催の件
・5月、6月委員会及びわくわく体験ツアー内容の検討
・大山地鶏見学　開催予定日5月23日（水）

地域スクラム委員会

平成19年5月9日（水）　於：米子食品会館　出席者／ 10名
議題・提言書のまとめ（次第の検討、各班に分かれ各検討事項の最終のまとめを行う、資料の再確認・訂正の検討）
・打ち上げの検討

夢委員会

平成19年5月10日（木）　於：㈱インサイト　出席者／ 8名
議題・担当例会打ち合わせ（担当、役割、スケジュールの確認）
・事業内容の『論語の素読』の内容、解釈の確認、実体験での解釈確認

※役員会、連絡事項、会員拡大の件は各委員会とも行われています。詳細については各委員長までご参照ください。

ご寄付ありがとうございました

31期卒会者11名とＯＢ会員（1名）からいただいた寄付金で青年中央会専用のパソコンを購入いたしました。

6月役員会報告

6月定例役員会が平成19年6月1日（金）米子食品会館にて開催されました。当日の主な議題は以下の通りです。
・5月例会報告の件　・6月例会開催の件
・7月総会、卒会式、懇親会の件　・青経連の件　・その他

6月例会案内

と　き：平成19年6月13日（水）　19：00～開会
ところ：米子コンベンションセンタービッグシップ小ホール
・32期委員会報告　・33期年度方針発表　・33期理事抱負
担　当：メディアコミュニケーション委員会

お誕生おめでとう

山根　光佳哩ちゃん（やまね　ひかり）
平成19年４月28日生まれ
山根 宏典会員の次女（第２子）
「私に似て、ちょっと可愛い光佳哩ちゃん！嫁には行かないでね！」

新入会員《コピーをして名簿にお貼りください》

（総務）

H19.05（H18年度）入会
（推薦者）佐々木（竹）土岐（哲）

山口　啓一郎（やまぐち　けいいちろう）　O型
住友生命保険相互会社　米子支部長
生命保険業
〒683-0804　米子市米原6-1-7-4F
TEL 22-2461　FAX 22-1157
（KT）090-7549-1926
（EM）keiitirou_yamaguti@m.sumitomolife.co.jp
S 42.11.30生

〈コメント〉　はじめまして。住友生命の山口と申します。大阪の出身で、平日は25名の女性に囲まれながら仕事に励み、休日は家族と海に山にドライブを楽しんでおります。中央会で多くの仲間をつくり、共に学び、共に楽しみ、そして少しでも地域に貢献していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します。

6月ハンサム編集後記

次年度役員も承認され今期も残り少なくなりましたが、我がメディコミ委員会は今期中にやるべきことがまだまだあり、バタバタしております。当会に入会させていただいてから早や7ヶ月が過ぎましたが、目の前にあることさえこなしきれていない私自身に腹を立てています。ですが、33期をいい形で迎えるためにも32期をいい形で締めくくりたいと思っています。ラストスパート！（記事：内藤）

※この紙は再生紙を使用しています。　※環境に配慮した「大豆油インキ」を使用しています。